



2023年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年5月11日

上場会社名 GMOグローバルサイン・ホールディングス株式会社 上場取引所 東
 コード番号 3788 URL <https://www.gmogshd.com/>
 代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 青山 満
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 池谷 進 (TEL) 03-6415-6100
 四半期報告書提出予定日 2023年5月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト・機関投資家向け) (百万円未満切捨て)

1. 2023年12月期第1四半期の連結業績(2023年1月1日~2023年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年12月期第1四半期	4,232	7.7	384	△25.9	467	△16.3	297	△26.3
2022年12月期第1四半期	3,929	15.0	517	68.2	558	90.0	403	75.7

(注) 包括利益 2023年12月期第1四半期 382百万円(△37.2%) 2022年12月期第1四半期 609百万円(33.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年12月期第1四半期	25.79	—
2022年12月期第1四半期	35.01	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年12月期第1四半期	14,595	7,889	53.9
2022年12月期	14,574	7,956	54.4

(参考) 自己資本 2023年12月期第1四半期 7,860百万円 2022年12月期 7,934百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年12月期	0.00	0.00	0.00	39.06	39.06
2023年12月期	0.00				
2023年12月期(予想)		0.00	0.00	38.46	38.46

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年12月期の連結業績予想(2023年1月1日~2023年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	17,080	7.0	1,506	32.0	1,504	23.7	886	4.6	76.91

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年12月期 1Q	11,693,000株	2022年12月期	11,693,000株
② 期末自己株式数	2023年12月期 1Q	173,637株	2022年12月期	173,637株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2023年12月期 1Q	11,519,363株	2022年12月期 1Q	11,519,384株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(会計方針の変更)	9
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループは、インターネットサービス市場において、電子認証や電子印鑑を中心とした、認証技術を活用したトラストサービスをグローバルに提供する「電子認証・印鑑事業」、26年を超える運用実績とノウハウを生かしたホスティングサービスおよびマネージドクラウドサービスを提供する「クラウドインフラ事業」、DX化により業務効率化・高付加価値化を図り、様々な課題解決を支援する「DX事業」を展開しております。また、これらの事業を通じて、利便性と安心・信頼を兼ね備えたインターネットサービスを提供し、多くの企業のインターネットビジネスを支えるべく事業を展開しております。

当第1四半期連結累計期間においては、当社グループの成長・収益基盤の柱である、自社運営の認証局で認証する「GlobalSign」ブランドの電子証明書発行サービスがグローバルで堅調に成長いたしました。また、注力商材として位置付けている電子契約サービス※1「電子印鑑GMOサイン」の導入企業数および契約送信数は引き続き順調に推移しており、持続的な成長を図るべく引き続き戦略的投資を行っております。さらに、デジタル化の進展等、拡大が続くクラウド市場において、マネージドクラウドサービスの販売も好調に伸長しております。

一方で、電子印鑑事業においては、前期より広告宣伝費を戦略的に投資したため、営業利益に影響を与えました。また、クラウドインフラ事業においては、電力料金等の高騰等の影響により売上原価が増加いたしました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は4,232,337千円(前年同期比7.7%増)、営業利益は384,006千円(同25.9%減)、経常利益は467,186千円(同16.3%減)、および親会社株主に帰属する四半期純利益は297,120千円(同26.3%減)の増収減益となりました。

※1：電子契約サービスとは、これまでの「紙+印鑑」の契約に代わり、「電子データ+電子署名」による契約形態のこと。印紙税課税対象外などのメリットがある

セグメントごとの業績は次のとおりであります。

(電子認証・印鑑事業)

電子認証・印鑑事業においては、電子契約サービス「電子印鑑GMOサイン」を注力商材として位置づけ、人材投資およびマーケティング活動の強化による認知度向上を図ることで、中長期的な事業拡大を目指しております。当第1四半期連結累計期間においては、戦略的投資を継続している「電子印鑑GMOサイン」の販売が堅調に推移しており、契約社数は1,256,000社(前年同期比113.5%増)となりました。契約送信件数においても引き続き順調に増加しており、2,007,860件(前年同期比102.3%増)となりました。地方自治体における業務のデジタル化を通じた行政サービスの利便性向上と職員の働き方改革を目的とした「さよなら印鑑～1億総デジタル化プロジェクト～」においては、現在、215の自治体が「電子印鑑GMOサイン」を活用し、業務効率化に関する検証を行っております。最近では、愛知県豊田市や滋賀県長浜市、さらに東京23区では初となる渋谷区へ導入されるなど、新たに34の公共団体への導入が決定しております。また、SSLサーバ証明書をはじめとした電子証明書発行サービスにおいては、昨年より引き続き、中国をはじめアジア地域を中心としてグローバルで販売を拡大いたしました。一方で、「電子印鑑GMOサイン」への戦略的投資を実施したことで広告宣伝費が増加したこと、および人員増強等の影響により人件費が増加いたしました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間における電子認証・印鑑事業は、売上高は2,631,027千円(前年同期比15.4%増)、セグメント利益は440,174千円(同22.6%減)となりました。

(クラウドインフラ事業)

クラウドインフラ事業は、マネージドクラウドサービス「CloudCREW byGMO」が、クラウドの導入支援および設計・構築、監視・運用などを代行することで、顧客のDX推進に貢献し、売上拡大を図っております。第1四半期連結累計期間においては、企業のDX推進等による需要拡大やパブリッククラウド市場の成長により、良好な受注環境を維持しています。一方で、「CloudCREW byGMO」の売上高は、為替の影響により前年に比べ低調に推移いたしました。また、既存のホスティングサービスにおいては、競争環境の激化により売上の鈍化傾向が続いております。さらに、「CloudCREW byGMO」のセキュリティ機能向上に注力したこと、および電気代高騰等の影響により売上原価が増加いたしました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間におけるクラウドインフラ事業の売上高は1,454,667千円（前年同期比3.2%減）、セグメント利益は365,058千円（同20.6%減）となりました。

(DX事業)

DX事業においては、電子認証・印鑑事業とクラウドインフラ事業で培ったノウハウを生かし、DX化による業務効率化・高付加価値化を図ることで、企業の様々な課題解決を支援しております。

当第1四半期連結累計期間においては、GMOデジタルラボ社が提供する企業・店舗専用の集客支援アプリ「GMOおみせアプリ」が堅調に導入店舗数を増加させ、当四半期連結会計期間末で9,697店舗（前年同期比9.6%増）となりました。また、大手顧客からのリピート受注が好調に推移したことで増収となりました。

GMOフィナンシャルゲート社との協業サービス「おみせポケット」においては、キャッシュレス化の進展に加え、代理店施策等により順調に導入店舗数を伸ばしており、当四半期連結会計期間末で10,406店舗（前年同期比97.4%増）となり、ストック売上も堅調に積みあげております。また、昨年12月に「LINKDrive byGMO」をはじめとする車両遠隔診断サービスを譲渡したことにより、売上原価が減少したことで営業損益が改善いたしました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間におけるDX事業の売上高は288,122千円（前年同期比1.0%増）、セグメント利益は1,650千円（前年同期は62,698千円のセグメント損失）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(流動資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産の残高は、9,653,393千円となり、前連結会計年度末に比べ233,196千円減少しております。主な増減要因は、現金及び預金の減少607,989千円、売掛金及び契約資産の増加258,548千円、前払費用の増加86,437千円であります。

(固定資産)

当第1四半期連結会計期間末における固定資産の残高は、4,942,314千円となり、前連結会計年度末に比べ254,600千円増加しております。主な増減要因は、工具、器具及び備品（純額）の増加76,921千円、ソフトウェアの増加181,389千円、投資有価証券の減少68,054千円であります。

(流動負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債の残高は、4,956,407千円となり、前連結会計年度末に比べ348,652千円減少しております。主な増減要因は、短期借入金の減少500,000千円、未払金の減少208,794千円、契約負債の増加117,313千円、「その他」に含まれる預り金の増加130,267千円であります。

(固定負債)

当第1四半期連結会計期間末における固定負債の残高は、1,750,240千円となり、前連結会計年度末に比べ437,096千円増加しております。主な増減要因は、長期借入金の増加360,000千円、リース債務の増加31,684千円、繰延税金負債の増加45,237千円であります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産の残高は、7,889,060千円となり、前連結会計年度末に比べ67,040千円減少しております。主な増減要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益297,120千円及び、支払配当金449,946千円を計上したことによる利益剰余金の減少152,825千円、為替換算調整勘定の増加115,819千円、非支配株主持分の増加6,854千円であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年12月期の連結業績予想につきましては、2023年2月13日付け公表の「2022年12月期決算短信」に記載の業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,679,517	6,071,528
売掛金及び契約資産	2,131,998	2,390,547
前払費用	603,850	690,288
その他	578,604	625,886
貸倒引当金	△107,381	△124,857
流動資産合計	9,886,590	9,653,393
固定資産		
有形固定資産		
建物	141,311	142,405
減価償却累計額	△74,144	△79,015
建物(純額)	67,167	63,390
車両運搬具	3,525	3,627
減価償却累計額	△3,525	△3,627
車両運搬具(純額)	-	-
工具、器具及び備品	2,840,367	2,981,380
減価償却累計額	△2,140,510	△2,204,601
工具、器具及び備品(純額)	699,857	776,778
リース資産	340,876	369,407
減価償却累計額	△203,186	△192,387
リース資産(純額)	137,689	177,020
有形固定資産合計	904,714	1,017,189
無形固定資産		
ソフトウェア	2,745,511	2,926,901
その他	46,771	44,203
無形固定資産合計	2,792,283	2,971,104
投資その他の資産		
投資有価証券	334,670	266,615
関係会社株式	165,250	165,250
長期前払費用	128,572	146,014
敷金及び保証金	175,122	180,581
繰延税金資産	187,040	195,497
その他	59	60
投資その他の資産合計	990,716	954,020
固定資産合計	4,687,713	4,942,314
資産合計	14,574,304	14,595,708

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	68,567	71,635
短期借入金	1,000,000	500,000
1年内返済予定の長期借入金	160,000	260,000
未払金	819,893	611,099
契約負債	2,280,151	2,397,465
リース債務	72,679	81,259
未払法人税等	194,181	123,344
未払消費税等	64,032	109,766
賞与引当金	104,943	108,517
その他	540,611	693,319
流動負債合計	5,305,059	4,956,407
固定負債		
長期借入金	585,000	945,000
リース債務	140,324	172,008
繰延税金負債	495,488	540,725
その他	92,330	92,505
固定負債合計	1,313,144	1,750,240
負債合計	6,618,204	6,706,648
純資産の部		
株主資本		
資本金	916,900	916,900
利益剰余金	6,294,565	6,141,740
自己株式	△163,154	△163,154
株主資本合計	7,048,311	6,895,486
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	62,024	25,135
為替換算調整勘定	824,295	940,114
その他の包括利益累計額合計	886,320	965,250
非支配株主持分	21,468	28,323
純資産合計	7,956,100	7,889,060
負債純資産合計	14,574,304	14,595,708

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2022年1月1日 至2022年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自2023年1月1日 至2023年3月31日)
売上高	3,929,040	4,232,337
売上原価	1,511,345	1,499,299
売上総利益	2,417,694	2,733,038
販売費及び一般管理費	1,899,696	2,349,032
営業利益	517,998	384,006
営業外収益		
受取利息	427	2,947
受取配当金	14,632	34,982
投資事業組合運用益	15,180	78,061
為替差益	7,880	-
その他	4,257	5,895
営業外収益合計	42,378	121,887
営業外費用		
支払利息	963	3,102
投資事業組合運用損	715	2,255
為替差損	-	32,604
貸倒引当金繰入額	206	23
その他	6	720
営業外費用合計	1,892	38,706
経常利益	558,485	467,186
特別利益		
投資有価証券売却益	4,447	-
特別利益合計	4,447	-
税金等調整前四半期純利益	562,932	467,186
法人税、住民税及び事業税	85,170	118,547
法人税等調整額	71,827	45,159
法人税等合計	156,998	163,706
四半期純利益	405,933	303,479
非支配株主に帰属する四半期純利益	2,608	6,358
親会社株主に帰属する四半期純利益	403,325	297,120

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年3月31日)
四半期純利益	405,933	303,479
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△56,128	△36,888
為替換算調整勘定	259,896	116,315
その他の包括利益合計	203,768	79,426
四半期包括利益	609,702	382,906
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	605,703	376,051
非支配株主に係る四半期包括利益	3,998	6,854

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を当第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することとしております。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2022年1月1日 至 2022年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高および利益または損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	電子認証・印 鑑事業	クラウドイ ンフラ事業	DX事業			
売上高						
外部顧客への売上高	2,223,741	1,426,713	278,585	3,929,040	—	3,929,040
セグメント間の内部 売上高又は振替高	57,164	76,009	6,579	139,753	△139,753	—
計	2,280,906	1,502,723	285,164	4,068,793	△139,753	3,929,040
セグメント利益又は 損失(△)	568,614	459,510	△62,698	965,426	△406,941	558,485

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額△406,941千円は、セグメント間取引消去であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2023年1月1日 至 2023年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高および利益または損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	電子認証・印 鑑事業	クラウドイ ンフラ事業	DX事業			
売上高						
外部顧客への売上高	2,573,583	1,377,304	281,449	4,232,337	—	4,232,337
セグメント間の内部 売上高又は振替高	57,444	77,363	6,672	141,480	△141,480	—
計	2,631,027	1,454,667	288,122	4,373,818	△141,480	4,232,337
セグメント利益	440,174	365,058	1,650	806,883	△339,696	467,186

(注) 1 セグメント利益の調整額△339,696千円は、セグメント間取引消去であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。